

ツンデレのジnkクス

最近、交流雑談所において発見され話題になった新たなパロロワの法則。
原作やロワ本編において、俗にいう『ツンデレ』もしくはそれに類する属性を持ったキャラは『ロワ本編で不幸な運命に巡り合いやすい』というもの。

(以下、反転するとネタバレ)
ラノロワの に端を発し、アニロワの やスパロワの 、ギャルゲロワの などがその定型例である。

大雑把に分析すると、このジnkクスにかかったキャラには以下のようなケースが発生し易い。

- ・ ツンデレ対象のキャラが死亡する。
- ・ 上記などにより精神が崩壊して発狂マダー化する。
- ・ 同行者がいた場合、その者が不幸な目に遭う。
- ・ 探している者がいた場合、(高い確率で)その対象は死亡する、もしくは死亡している。
- ・ 大激戦、鬱展開などに巻き込まれる。及び、それによって悲惨な最期を遂げる。

類似法則に、くぎみーキャラのジnkクス、聖上クオリティなどがある。

くぎみーキャラのジnkクス

ツンデレのジnkクスと似て非なる法則。

上記の や 、ジャンプロワ、LSロワの など『声優の釘宮理恵(くぎみー)が声を担当する(担当した)キャラは、なぜか序盤で死亡したり、ロワ本編で不幸な運命に巡り合いやすい』というもの。

.....しかし、これはくぎみーが『ツンデレ声優』という通称で呼ばれ親しまれている通り、ツンデレキャラの声を担当することが多いゆえにしょうがないのではないかという気もする。

しかし、これらのジnkクスは必ずしも100%起こりうるとは限らない。

現に、ハカロワ3メインルートの のように『声優がくぎみーでしかもツンデレ』というキャラでありながらも最後までこのジnkクスに極力引っかからず、なおかつロワから生還を果たしたキャラも存在する。

また、漫画ロワにいたっては、くぎみーキャラが三人も居たにも拘らず全員熱く壮絶な死を遂げ、**誰一人としてこのジnkクスに嵌らなかった** という反逆ぶりを見せた

ちなみにジnkクスとは関係ないが、くぎみーキャラはマダー要素が多いキャラ(例えば、ロワ参加経験のあるキャラなら、『灼眼のシャナ』のシャナ、『武装錬金』のヴィクトリア、『アカイト』の若杉葛等)含めても、何故かマダー化する率が非常に少なく、初登場SSでマダー化するキャラに関しては現時点では0という結果になっている。

聖上クオリティ

これも上記のジnkクスと似て非なるもの。

Leafのアダルトゲーム、およびそれを原作としたアニメ作品『うたわれるもの』の主人公ハクオロに **なぜか** (**ここが重要**) 起きてしまうジnkクスである。

その内容は『ハクオロはパロロワで登場するたびに **ロワ序盤に女子高生キャラに殺害される**』というものである。

実際に、ハクオロは現在まで（カオスロウを除いて）ハカロウII、アニロウ、ギャルゲロウと3つのロウで参加者として登場しているが、そのうちの2つ、ハカロウIIでは _____ に、アニロウでは _____ に序盤であっさりと殺害された。

『殺害したのがどちらも女子高生キャラで、しかもどちらも死んだ時の模写がかなりあっさりとした死にっぴり』というそんな偶然から交流雑談所やアニロウの感想雑談スレなどで話題になり、いつしか『うたわれるもの』が参加しているパロロウでは女子高生キャラ（特にハクオロの近くにいるマード）のことを『聖上キラー（聖上殺し）』などと呼ぶようになった。

ギャルゲロウでは「三度目の正直」とばかりに現在のところ（なんとか）生存しているが、このジnkスの影響なのか『全参加者中一番の死亡フラグをもっている（すでにその死亡フラグの数は二桁を超えている）不幸キャラ』という状態である。

……もはや、頑張るとしか言いようがない。

しかし、中盤以降死亡フラグが殆ど折れた上に生存フラグまで転がり込んできて、逆に「まだ死なないの？」という状態に入りつつある。聖上カワイソ。

そして、つい先日投下された最新話において女子高生キャラクターである _____ に葬られたことにより、聖上クオリティにまた新たな歴史を刻むことになった。とはいえ、今回は終盤まで生存していたが。

最近では、参加者がかなりカオスなオールロウにいた『あの作品のキャラがルイズに召喚されました』のハクオロもまた、第1放送直後に女子高生キャラ _____ に殺害されている。このハクオロはかなりカッコいい死に方ではあったが、ちなみにハクオロにとどめをさした凶器は _____ である。

追記 _____ ロウにて、誤解&支給品の暴走によりまたも女子高生キャラである _____ に殺害されてしまった聖上。……まだまだ聖上クオリティは止まらないようだ。

柊かがみ伝説

『らき すた』のメインキャラクターの一人、柊かがみは漫画ロウ、アニロウ2nd、カオスロウそしてニコロウに登場し、以下のようなツンデレのジnkスを発動した。

- アニ2nd 破壊されつくした妹の死体を発見、不死になったがため自殺もできない、現在るるのルイズフラグを順調に立てまくっている。
- 漫画 友達の死を空気読めないK O O Lにこれでもかと叩きつけられ暴走中。このまま行けばガソリンタンク密集地へGO！ 全裸で
- カオス 首だけになってどンドン道を踏み外し、ついにはるるのルイズどころではないレベルの完全な外道キャラにまつり上げられる。
- ニコニコ ささいな口喧嘩であっけなく死亡

何よりもすごい点は、これが全部一週間以内に起こったジnkスの同時多発になったことである。ちなみに、あっけなく死亡したニコロウを除いて現在も不幸街道一直線であるあたり、ひたすらに悲惨である。

ちなみにそのニコロウでも彼女の死の影響により平和だったメンバーが分散し、

- 一人は暴走から一人をつき落とす。さらに仲間がもう一人転落しそれを別の仲間が追う。その後、彼は事故死。しかもかなりグロい死に様
- 事故で落ちた者とそれを追った者は遭難
- それらの発端となった妹はおかしくなったあげく仇の参加者を手駒として捕獲

元の場所での仲間による説得も功を成さずマörderから救ってくれた恩人を射殺

- ・ さらにもう一人の片腕を爆破しマörder街道まっしぐら

と残された者達にまでとんでもない不幸をばらまく有様である。

さらになのは口ワにおいても、『

』、『

』と、順調に不幸街道

をひた走っている。

多ジャンルバトルロワイアルでも何故か開始位置が会场上空だったり、最初に遭遇したミハエルに殺されかけたりと不幸の連続だったが、それらも
という最大の不幸に比べれば霞んでしまうだろう。

魔法少女リリカルカイズ

出典元が複数に及ぶ口ワ（いわゆるクロスオーバータイプの口ワ）企画で、アニメ『魔法少女リリカルなのはシリーズ』に登場するキャラに発生する「親友、または同僚が死ぬ瞬間に立ち会う確率が非常に高い」というジンクス。

実際に上記のジンクスが発動したのはアニ口ワ、アニ口ワ2nd、LS口ワの三つ。

最初にこの現象が起きたのはアニ口ワの

で、『

』という展開であり、口ワ本編中に起きた他の様々な不幸も合わせてカイ

ズクイーンとまで呼ばれる始末であった。

特に悲惨なのがLS口ワの

で、『

』という展開により、LS口

ワ内でのクイーン・オブ・カイズの名を欲しいままにしてたりする。

更に上記の攻撃時には本命の強マörderには攻撃は当たらず、それどころか『

』事に。

LS口ワにおいて、殺害数7名とぶっちぎり、下手なマörderを歯牙にも欠けない悪魔だった。

ちなみに、同作品で同じくLS口ワの参加者に
という、くぎみー声でツンデレ気味なキャラ
がいる。

彼女はこれら複数のジンクスに負けず、無事に親友と合流し、ギャグ要因も担当する余裕をみせていたのだが、最新話において『

』。

……現実是非情である。

意外にもなのは口ワにおいては、このジンクスはあまり発生していない。せいぜい『

』程度である。

関連項目

- ・ 古今東西（ツンデレキャラ）？
 - ・ 恋愛
-